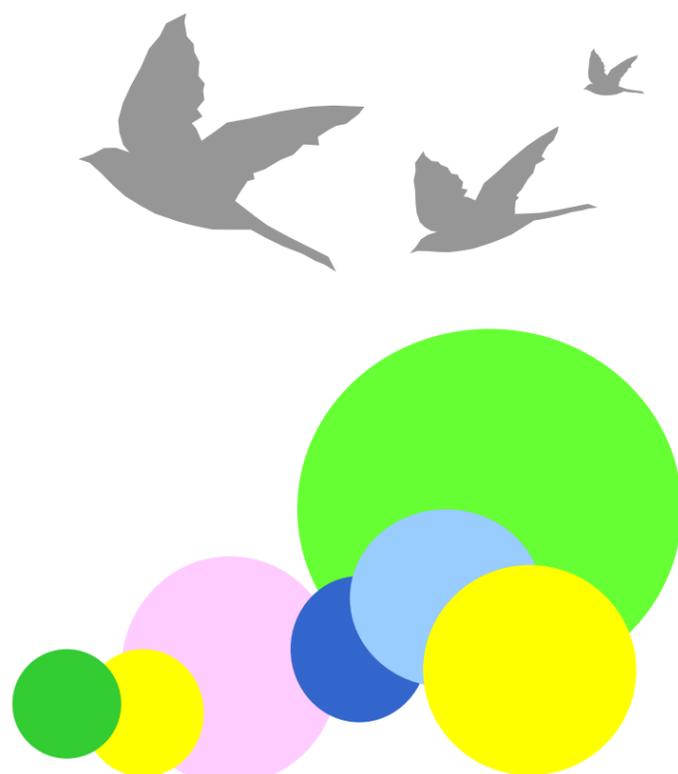


*Membership Info.*

ご案内

# 一般社団法人 保険者機能を推進する会

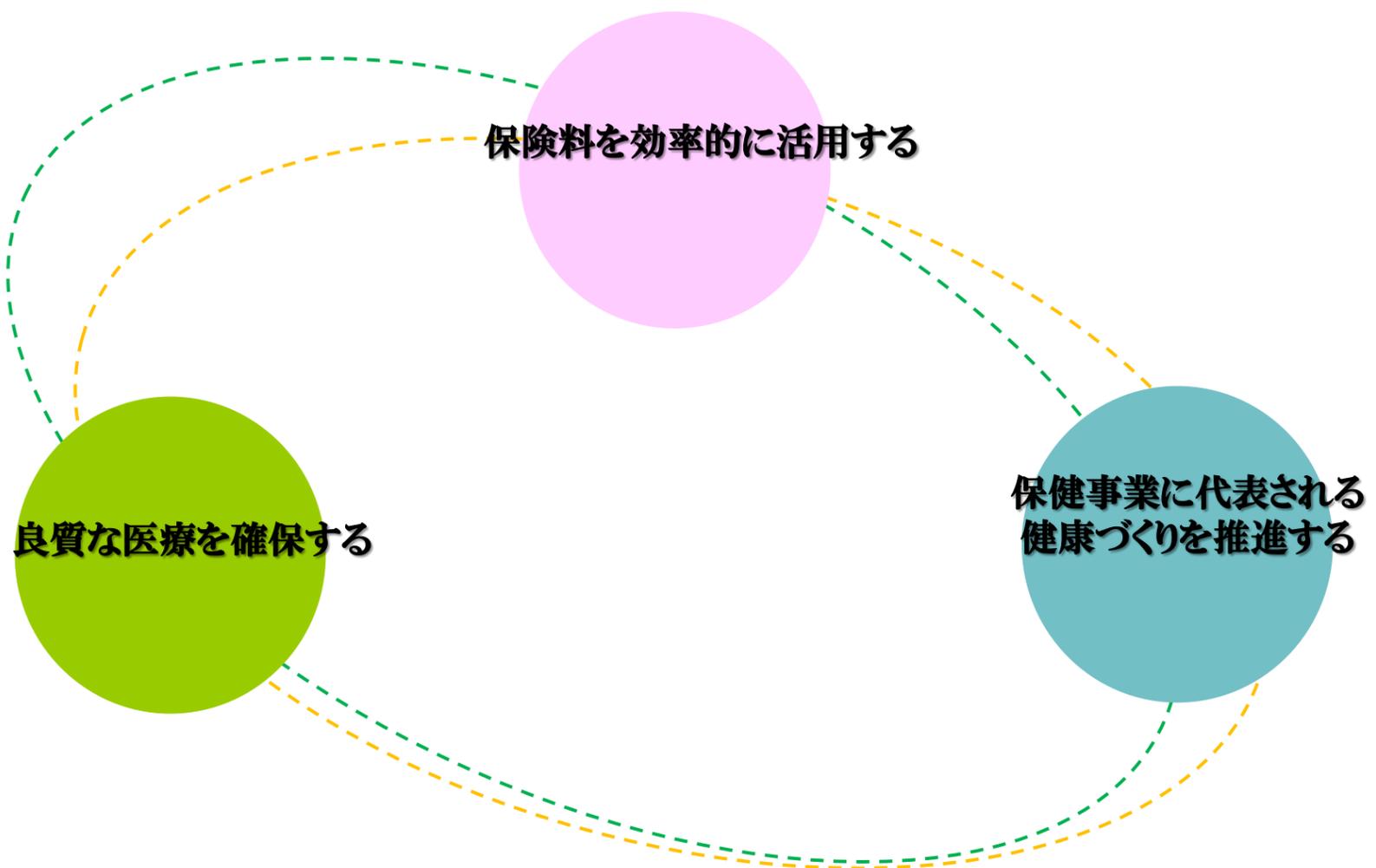




Purpose

# 目的

## 「保険者機能の原点」を追求します！



「保険者機能の原点」とは、被保険者・被扶養者のために上記三点に努めることであり、この実施・実現が保険者の使命です。  
本会は、保険者自身が集い、参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とします。

この考えにご賛同していただける健康保険組合様のご加入をお待ちしています。ぜひ、一緒に活動しませんか！

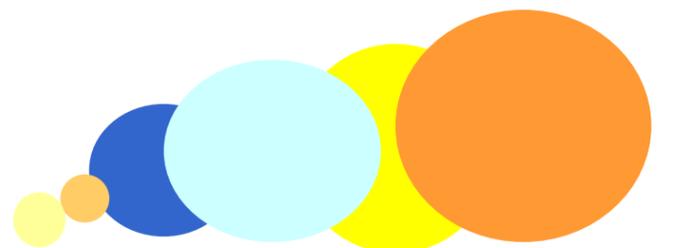
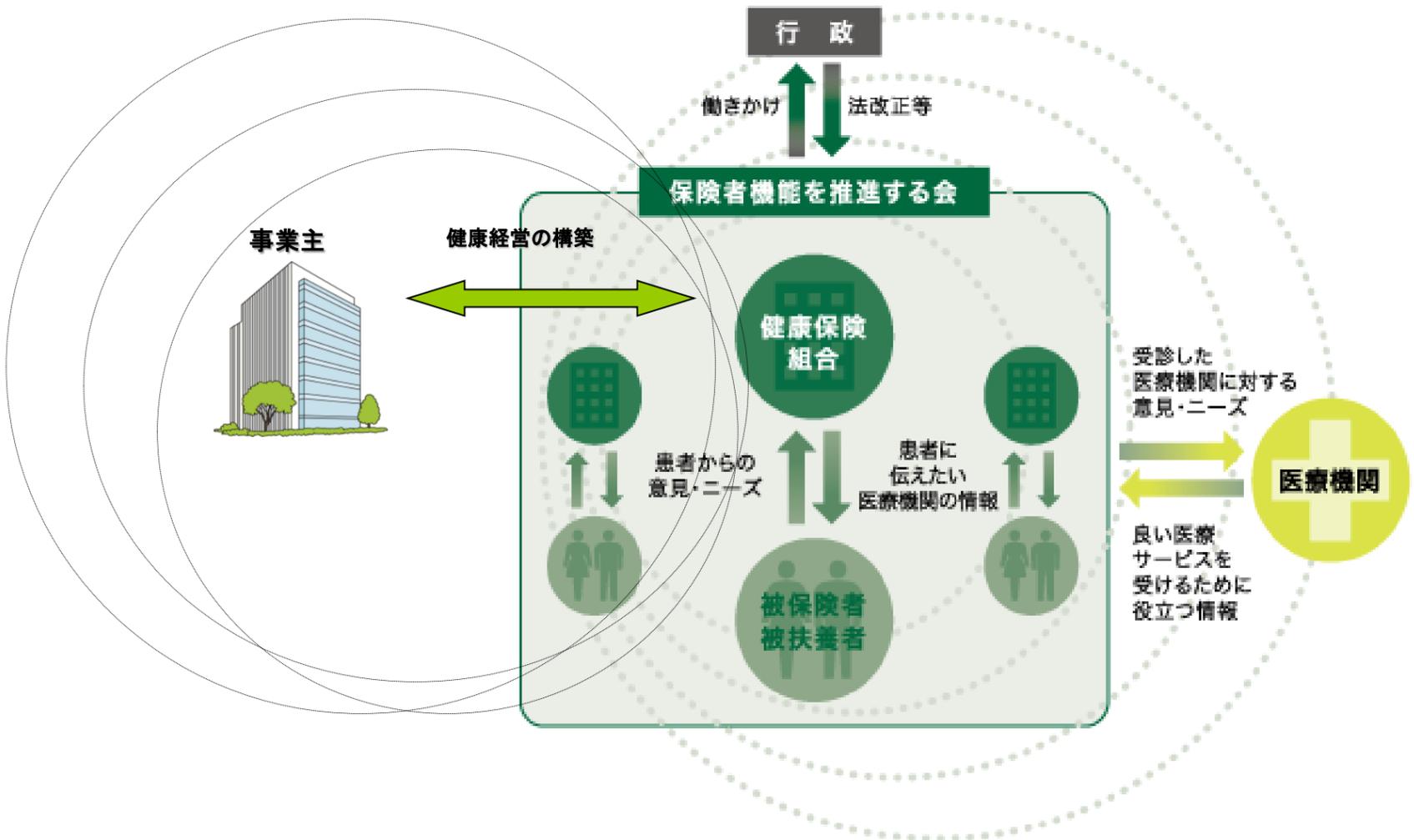


# 活動概要

- ◎健保の効果的な運営に向け、健康保険・保健事業などの情報共有
- ◎健保を取り巻くさまざまな課題に対しての研究・議論
- ◎関係機関への提案・提言
- ◎会員健保の幹部職員・一般職員の人財育成

少子高齢化社会の進行に伴う「医療保険改革」といった社会的課題に対し、政府をはじめ、経済界、労働界、研究機関、学識経験者などからさまざまな提案、提言がなされており、その多くが「保険者機能の強化」を強く求めています。

「保険者機能を推進する会」は、健康保険制度・健康保険組合を少しでも良くしたいという思いを持つ健康保険組合が「主体的に参画」し、保険者機能の強化に向け活動を行っています。





# 研究会活動

健康保険を取り巻く様々な課題のうち、自健保だけでは解決が難しいもの、協働することでより効果が見込めるものなどを持ち寄り、知恵を出し合って何らかの成果物を生み出す研究会活動を行っています。運営は自主性を重んじ参加者の中でリーダーを選出し、当該年度の目標成果物、活動方針を定めて、ほぼ1カ月に1回の頻度で集まっています。必要に応じて有識者や行政、健保連の担当者にもヒアリングを行い、情報レベルを高めています。2020年度の研究会テーマは以下のとおりです。

## 2020年度研究会テーマ一覧

### 【レセプト・健診データ分析研究会】

健保が保有する健診・レセプトデータの研究を通じて、分析手法を学び、保健事業の評価・効果検証に役立てることを目的とします。

- ①【全体テーマ】参加健保の健診データを同一の手法で分析し、単年・経年分析及び他健保比較から、自健保の特徴と課題を考察します。
- ②【グループテーマ】参加者の関心に応じて、グループ分けとテーマ設定を行い、研究結果を掘り下げていきます。昨年度のテーマは「特定保健指導」「保険者の強み弱み分析」「保健事業比較分析」「レセプト活用」「分析の見せ方」の5つ。
- ③ 東大の先生方（アドバイザー）によるレクチャーや、参加健保による事例発表から、保健事業の動向や良好な取組事例を学び、自健保の保健事業に役立てます。

### 【健診事業のあり方研究会】

本研究会は、健診項目や受診勧奨・事後フォローがどうあるべきかの検討を行うことで理想的な健診事業のあり方を追求している研究会です。2019年度から健保にとっても喫緊の課題である「がん対策」に特化して取り組み、「職域におけるがん検診に関するマニュアル」（2018年3月厚生労働省）を基に健保として取り組むべき課題を整理しました。

2020年度はその課題の中で優先度が高い ①がん検診のメリットだけでなくデメリットを伝える ②検診後の精検受診を勧奨し精検結果まで把握する の2つについて適切に実施できるよう、各健保が活用できる提言をまとめることを目指します。健診・検診について少しでも悩み・問題意識をお持ちの方、一緒に勉強しませんか。

### 【特定保健指導応用研究会】

2020年度は、第3期特定保健指導の3年目の年となります。2019年度には、特定健診・保健指導の実施率が公表され、後期高齢者支援金の加算・減算対象健保も見える化され、保険者へのプレッシャーが本格化してきました。

今年度の活動は、2019年に研究を開始した下記課題の班活動の成果物を取りまとめ、その後、より詳細に研究すべきテーマを深掘りし、研究会内外に共有したいと考えています。

- ・被保険者・被扶養者に切り分けた特定保健指導の実施率が高い健保の工夫
- ・事業主とのコラボの成功事例
- ・外部業者の特定保健指導情報の整理（2018年作成資料のアップデート）

また、特定保健指導業者のモデル実施等の最新情報の講演や、参加各健保の実施状況も共有し、自健保に役立つヒントが得られるようにしたいと考えています。

入会を検討される健保様には、研究会を見学していただくこともできます。

## 【女性の健康研究会】

性差を考えた女性の健康にフォーカスして、著名医師や専門家を招き、この会でしか聴けない目から鱗のセミナーを受講するなど、女性だけでなく、夫や親であり、仕事仲間である男性にも役立つ活動を月1回程度行っています。

2020年度は、女性の健康に関する医療費等を分析し、女性特有の健康課題を抽出し、研究会アドバイザーのアドバイスを受けて、エビデンスのある分析を行う予定です。

## 【シニアの健康研究会】

世の中のシニアの健康を増進するため、まずは自健保のシニアに対し効果的な健康施策を立案・実施し、ヘルスリテラシーが高く、心身共に健康なシニアとして地域保険へ送り出すことで、高齢者の医療費を適正化し、ひいては納付金等が健保財政に与える影響を最小限に抑えます。

2020年度は2019年度に策定した「シニアの保健事業モデル」をトライアル実施し、できれば効果検証まで行いたいと考えております。また、被用者保険からは手の届きにくい「シニア被扶養者」を対象とした健康増進策について、地域保健の担い手である地方自治体や医師会、歯科医師会、大学等との連携・協力を視野に入れて研究し、より効果的な施策も検討してまいります。懇親会の多い、明るく大変風通しの良い研究会です。たくさんの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 【たばこ対策研究会】

改正健康増進法および東京都受動喫煙防止条例が、2020年4月1日から全面施行となりました。改正後は喫煙者の受動喫煙を防止する観点から、喫煙室専用での飲食が禁止された事をご存知ですか？本研究会では会員相互の情報交換に加え、有識者に講演をいただき、行政と連携をとり、喫煙対策・禁煙推進に関して正しい理解を深めています。

「能動喫煙・受動喫煙による健康被害の防止を図ること」「医療費の適正化を図ること」を目的に、研究会の成果物である禁煙サポート動画・禁煙トリビア・ポスター等を活用し、各職場の現状を把握し、最適な禁煙施策を目指しています。

研究会で知識を習得し、経験を積むことにより日本禁煙科学会の「禁煙支援士」の認定が受けられます。私たちと共に、禁煙推進の活動をしたい方の参加をお待ちしております。

## 【療養費適正化研究会】

「療養費適正化研究会」では、『柔整・あはき・治療用装具』の適切な利用に向けて、メンバー個々の審査・点検のスキルアップと加入員への周知・教育をどのようにしていくか研究していきます。

そのために各健保の様々な事例や悩み、また不正請求等への対応等について情報共有していきます。また、現在厚労省で検討している『あはき・柔整の広告ガイドライン』について継続テーマであるホームページの広告(広報)の扱いについて、研究会で把握した事実を検証し、改善につながる行動に繋げることを考えています。なお、治療用装具の理解を更に高め、健保の活動がより一層加入者のためになるように、装具製作の工場見学等も計画しています。

## 【扶養認定基準研究会】

当研究会の目的として参加者の経験年数に応じた認定審査の向上及び健保間の情報共有による認定審査の標準化、また電子申請や情報連携を利用した業務効率化などを研究します。また必要に応じ健保連と連携を図り相互に情報共有を行います。

2020年度の具体的な活動としては毎年当研究会は参加者が多いため少人数のグループワークを中心に前半と後半とに分けた活動を行っています。前半は共通テーマによる参加者同士のディスカッションを中心に情報共有を図る活動を、後半は参加者の知りたい事をテーマにテーマ別のグループ活動により深堀り活動成果物の作成を行う予定です。経験年数の浅い方を対象に認定業務に必要な健康保険法や各種関連通知等に対する勉強会の実施も予定しています。

入会を検討される健保様には、研究会を見学していただくこともできます。



# シンポジウム・講演会・研修会事業

## 1. 常務理事ゼミナール

常務理事ゼミナールは、「常務理事の皆さまが、自健保内で展開する各種事業における、“常務理事としての振る舞い”について、これまで以上に、より実践的な意見交換の場になるよう」という主旨で開催され、2019年度は「コラボヘルスの実践」「データヘルスの実践」「保険者マネジメント」といったテーマを中心に、それぞれ具体的な取り組みについてグループ討議主体の意見交換等を行ってきました。

新任の常務理事の方も多数参加され、毎回活発な情報共有や意見交換が行われていますので、常務理事であればどなたでも気兼ねなくご参加いただけます。参加者の皆さまからも「同じ常務理事の立場での対応や具体的な進め方の情報・意見交換は参考になる！」という声も多く頂いています。気軽に話しあうことで何か課題解決につながるヒントが得られるかもしれません。

更には、フェイス・トゥ・フェイスで本音の議論をしていることから、常務理事同士のネットワークが広がっていくことが期待されます。このゼミナールで培ったネットワークが、日々の業務の課題解決の役に立ち、活動の充実にもつながっていくことと思います。ぜひ、多くの常務理事の皆さまのご参加をお待ちしております。



## 2. 医療保険制度ゼミナール

「医療保険制度ゼミナール」は2020年度で6年目を迎えた活動です。

当会の基本機能である「保険者機能を推進する」を軸に、厚労省・財務省、アカデミア・医療提供側・患者団体・メディア等々の保険者を取り巻くステークホルダーに講義をお願いし、それを通じバランス感覚を持って将来に提言ができる保険者を育てることを目指しています。常務理事・事務長・役職者等の健保マネジメントに携わる方を中心に、資料の事前読み込みを行って、予め課題をもって参加することを前提としています。また一方通行の講義でなく、質疑・ディスカッションの時間を十分にもうけ、多面的な見方があることを実感できる形としています。

2018年度も、多彩なステークホルダーを積極的に組み入れ、広くディスカッションすることで会員健保の提言につながる活動を推進しました。

- ・「健保業務のICT化の展望」(保険者)
- ・「なぜ医療費は増えるのか」(アカデミア)
- ・「レセプト・健診データを用いた臨床研究・医療経済研究」(アカデミア)
- ・「国民健康保険について」(保険者)

2020年度も、多彩なステークホルダーを積極的に組み入れ、広くディスカッションすることで会員健保の提言につながる活動を推進していきます。



## 3. 基礎知識研修会

基礎知識研修会では、主に一般職員を対象として、時節柄関心の高いテーマをその都度取り上げ開催しております。

2019年度は「人を動かす」をテーマに以下の内容で開催しました。

第1回(5月29日開催) 東京大学の奥原先生をお招きし

- ・健康行動を促すコンテンツ作成のための10原則
- ・コンテンツ作成の3つのステップ

についてご講演いただきました。その後、参加者のグループワークで、広報ツールのラフ案を作成し奥原先生より、10原則に基づいた具体的なアドバイス・講評をいただきました

第2回(10月29日開催)

「伝える!! 動かす!! 実践事例の共有」をテーマに、奥原先生のノウハウを活用した事例を5つの健保より共有いただきました。

住友不動産販売健保、ファイザー健保、

三越伊勢丹健保、第一三共グループ健保、資生堂健保の5健保

尚、2020年度は、関心の高いテーマに加え、各研究会での研究成果の発表の場として年4~5回程度開催していく予定としております。





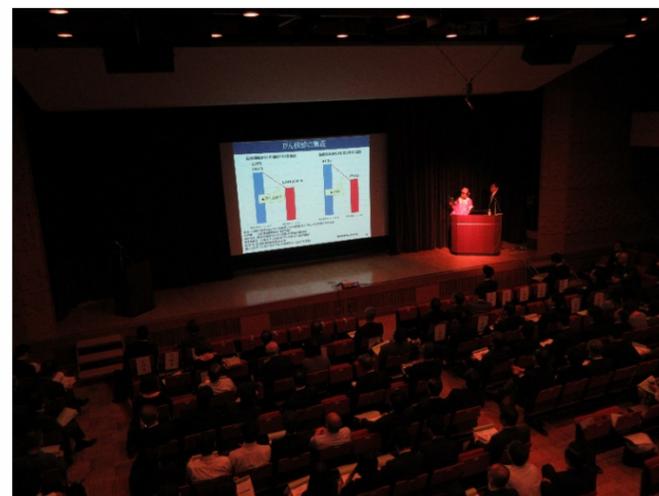
**新型コロナウイルスへの対応で、  
第9回 保険者機能推進全国大会は  
中止することといたしました。**

**第8回全国大会(2019年11月11日)の概要  
「保険者機能のさらなる発揮・進化に向けて」**

2019年11月11日、第8回保険者機能推進全国大会を開催いたしました。  
今回は「保険者機能のさらなる発揮・進化に向けてこれからの保険者経営～その戦略とイノベーション～」と題して、経済産業省産業構造審議会 2050経済社会構造部会委員 山本雄士先生に基調講演をいただきました。  
第2部として、健診事業のあり方研究会、ポピュレーションアプローチ研究会の2つの研究会による成果発表を行いました。



山本雄士先生の基調講演



研究会による成果発表の様相

# ご案内

## 会費

被保険者数	正会員 年会費
5千人未満	11万円
5千人以上1万人未満	13万円
1万人以上2万人未満	15万円
2万人以上5万人未満	17万円
5万人以上	19万円

※年度（4月から翌年3月）途中の入会の場合は、会費は月割計算（千円未満切捨）した金額になります。  
※健康保険組合の都道府県連合会およびその下部組織、ならびに健康保険組合以外の保険者および団体等については、準会員として入会することができます。準会員の会費は被保険者数により3万円～11万円、被保険者0人は11万円です。

## アクセス

## 会員一覧



IHグループ、アクサ生命、味の素、azbilグループ、アフラック、イオン、石塚硝子、エーザイ、SMBC日興証券グループ、SGホールディングスグループ、FR、MSD、オートバックス、小田急グループ、オリンパス、花王、カシオ、協和キリン、キリンビール、近畿日本ツーリスト、グラクソ・スミスクライン、栗田、KDDI、国際興業、国際・政策銀、コスモスイニシアグループ、コニカミノルタ、小松製作所、鷺宮、サッポロビール、C&Rグループ、シーイーシー、CNCグループ、ジェイアールグループ、JNC、資生堂、ジャックス、ジャパンディスプレイ、住友不動産販売、全日本空輸、ソニー、第一三共グループ、大正製薬、太陽生命、太陽日酸、大和証券グループ、武田薬品、TDK、ディスコ、デンソー、東京海上日動、東京ガス、東芝、TOTO、トッパングループ、トピー、豊田合成、豊田通商、トラスコ中山、トランス・コスモス、ナイガイ、ニコン、ニチレイ、日産自動車、日新製糖、日本アイ・ピー・エム、日本航空、日本コロムビア、日本事務器、日本製鉄、日本ゼオン、日本ヒューレット・パッカート、日本マクドナルド、日本郵船、日本旅行、ノバルティス、野村證券、パイオニア、博報堂、パナソニック、阪急阪神、BIJ、PHC、日立、ファイザー、フジクラ、富士通、富士フイルムグループ、プリチストン、プレス工業、ポーラ・オルビスグループ、ボッシュ、丸井、三越伊勢丹、三菱、三菱ケミカル、三菱電機、三菱UFJニコス、明治安田生命、明電舎、山崎製パン、ヤマトグループ、ヤマハ、リクルート、レンゴー、ロイヤル、ローソン、ワールド、健康保険組合連合会京都連合会

109会員【2020年7月1日現在】

入会を希望する、または質問のある健保様はお気軽に事務局へご連絡ください

〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町11番地 乗物町第一ビル 4階  
電話 03-5577-5411 FAX 03-5577-5413  
e-MAIL hokensha@kino-suishin.org  
ホームページ <https://www.kino-suishin.org/>

Copyright (C) 一般社団法人 保険者機能を推進する会 All Rights Reserved. 無断転載禁止